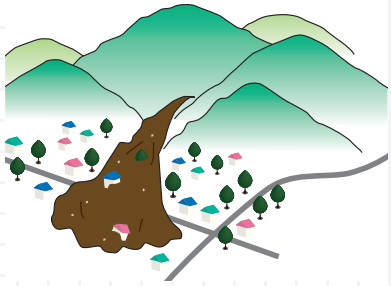
土砂災害

土砂災害とはどのような災害か

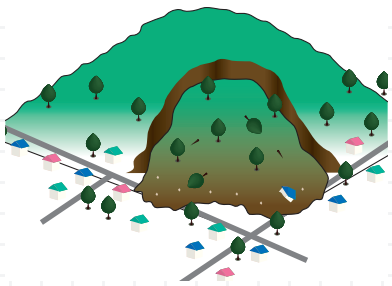
土砂災害には、
主に　①土石流災害　②地すべり災害　③がけ崩れ災害　の3つがあります。

土石流



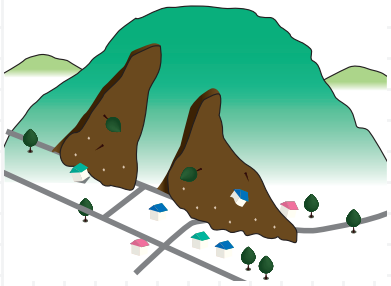
沢の出口などで、集中豪雨等の際に、雨水と岩や土砂が一気に流れ出す災害です。まっすぐに、早いスピードで流れ出すので、事前の避難が重要です。

地すべり



地下にすべりやすい地層がある場合に、長雨や雪解けなどの影響で、斜面がゆっくり動き出す災害です。緩慢な動きであることが多いですが、広い範囲に被害を及ぼすことがあります。

がけ崩れ



急な斜面が、集中豪雨や地震等の際に、突然崩れ落ちる災害です。突然、早いスピードで崩れ落ちるので、事前の避難が重要です。

土砂災害に対する心得

ハザードマップで防災情報を確認しておきましょう

市町村では、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域等を表示した土砂災害ハザードマップを作成しています。ハザードマップで普段自分がいる場所の危険度や避難場所、安全な避難経路を確認しておきましょう。

危険な場所からは早めに避難しましょう

気象庁が発表する防災気象情報や市町村が発令する避難情報を確認しましょう。避難情報の発令前でも、レベル3土砂災害警報やレベル4土砂災害危険警報が気象庁から発表されたら、危険な場所からは早めに避難しましょう。

このような前ぶれが見られたら避難しましょう

土石流の前ぶれ



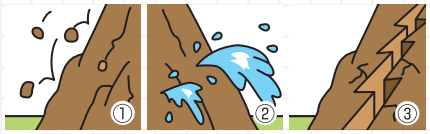
①山鳴りがする
②雨が降り続いているのに川の水位が下がる
③川の流れが濁り、流木が混じりはじめる

地すべりの前ぶれ



①地面にひび割れができる
②沢や井戸の水が濁る
③池や沼の水の量が急に変化する

がけ崩れの前ぶれ



①小石がバラバラと落ちてくる
②斜面から水が噴き出す
③斜面にひび割れができる

竜巻

竜巻はどのようにして起きるか

竜巻は、台風、寒冷前線、低気圧などの周辺で発生し、台風シーズンの9月が最も多いです。

台風などの周辺では積乱雲が発生します。積乱雲は雲の中に強い上昇気流を伴っており、その気流が何らかの原因で回転すると、竜巻となります。

竜巻に遭遇した場合の心得

屋外の場合
・飛来物に注意し、近くの頑丈な建物に避難します。
・真っ黒い雲が近づいてきたのを見たら、避難を考えてください。

屋内の場合
・窓やドアから離れ、家の中で一番丈夫な所へ移動します。時間があれば雨戸を閉めます。

気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）とは

発達した積乱雲の下で発生する激しい突風に対して注意を呼びかける情報です。雷注意報を補足する情報として発表されます。有効期間は発表から約1時間が目安ですが、注意すべき状況が続く場合には再度発表されます。

情報発表のタイミング

半日～1日前	数時間前	0～1時間前
「気象解説情報」発表	「雷注意報」発表	「気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）」発表
「竜巻などの激しい突風のおそれ」と明記し注意を呼びかけ	「竜巻」と明記し、特段の注意を呼びかけ	今まさに、竜巻等が発生しやすい気象状況になったことを発表